

2024年

登録切断穿孔基幹技能者

試験問題（90分）

注意事項

- 1、 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
- 2、 受講番号と氏名を解答用紙の所定の欄に必ず記入すること。
- 3、 本冊子に落丁・乱丁・印刷不鮮明の個所などがあつた場合には、申し出ること。
- 4、 答案ができあがったら、監督者の指示に従って提出すること。ただし、試験開始30分以内の場合は、退室できないので、静かに着席していること。
- 5、 解答の方法は次のとおりとする。  
正解と思うものを（①～④）の中から 1つだけ 選択し、解答用紙の番号に○印にて記入すること。2つ以上記入した場合は、誤答となります。
- 6、 解答を訂正する場合は、訂正する解答を消しゴムできれいに消した後、新しい解答を記入すること。
- 7、 解答用紙の受講番号・氏名を正しく記入していない者は、採点せずに0点とする。

[問題作成]

ダイヤモンド工事業協同組合  
登録切断穿孔基幹技能者試験委員会

問題 1

公共工事における登録基幹技能者の評価・活用に関する次の記述の【 】に入る語句の組合せで最も適切な番号に○印をつけよ。

登録基幹技能者は、公共工事における総合評価落札方式において国土交通省ではすべての【 】で導入されている。また、【 】等の地方自治体や都市再生機構等の独立行政法人においても導入されるなど本制度の【 】の総合評価方式における評価・活用は着実に進んでいる。

- ① 【公共工事】 【地方整備局】 【都道府県】
- ② 【都道府県】 【公共工事】 【地方整備局】
- ③ 【地方整備局】 【都道府県】 【公共工事】
- ④ 【公共工事】 【都道府県】 【地方整備局】

問題 2

建設キャリアアップシステムに登録した技能者に対し個別に配布されるキャリアアップカードのレベルに応じた色分けに関する次の記述のうち、最も適切でない番号に○印をつけよ。

- ① レベル1目安：初級技能者（見習いの技能者）…ホワイトカード
- ② レベル2目安：中堅技能者（一人前の技能者）…グリーンカード
- ③ レベル3目安：職長として現場に従事できる技能者…シルバーカード
- ④ レベル4目安：高度のマネージメント能力を有する技能者…ゴールドカード

問題 3

価格戦略について、次の記述のうち、最も適切な番号に○印をつけよ。

- ① プライスリーダーがコストリーダーになる。
- ② 差異化戦略は特定の工種で地域に密着している。
- ③ プライスリーダーが存在する寡占市場は価格競争が激しい。
- ④ コストリーダーシップ戦略では低価格競争になりにくい。

問題 4

登録基幹技能者の部下育成のOJTに関する次の記述のうち、最も適切でない番号に○印をつけよ。

- ① 登録基幹技能者は作業を通して技能者を指導・教育することでレベルアップの実現を図る
- ② 良い仕事とは【やる気】が条件であり、登録基幹技能者はその【動機付け】となる
- ③ 登録基幹技能者は部下の「苦手な部分」を中心にOJTを行う
- ④ 登録基幹技能者は部下育成という、仕事に必要な「知識」と「技能」と「学びの態度」についてOJTを行う

問題 5

OJTを進める上で重要なポイントは、教える相手に対して、何をどの程度教えるか把握したうえで指導することであり、【目標の設定】に関する次の記述のうち、最も適切でない番号に○印をつけよ。

- ① 目標は設定期間終了時に評価が可能であること。
- ② 日常の仕事を通じて行う指導・教育が可能な目標・項目であること。
- ③ 部下が責任感とリーダーシップを発揮して取り組めるものであること。
- ④ 目標は定量的で具体的であること。

問題 6

OJTを進める上で指導と仕事の与え方には深い関係があり、【指導方法】に関する次の記述のうち、最も適切でない番号に○印をつけよ。

- ① 指導で大切なことは、自分で考え、工夫させ、それを試させることである。
- ② 指導で大切なことは、試させた結果を評価することである。
- ③ 指導の手法には、「教える」「見習わせる」「経験させる」「自己啓発させる」ことである。
- ④ 指導で大切なことは、徹底して指示通りにやらせることである。

問題 7

労働安全衛生法第 26 条には「作業員が守らなければならない6つの義務が定められている」次の記述のうち、【6つの義務に該当しない事項】を（①～④）より選択し、その番号に○印をつけよ。

- ① 安全状態を保つ義務
- ② 熱中症防止対策義務
- ③ 保護具の着用・使用義務
- ④ 危険行動の禁止義務

問題 8

建設業法の目的に関する次の記述のうち、最も適切でない番号に○印をつけよ。

- ① 下請負人の保護。
- ② 建設業を営む者の資質の向上。
- ③ 建設工事の請負契約の適正化等。
- ④ 建設工事の適正な施工を確保。

問題 9

施工管理について、次の記載のうち、最も適切な番号に○印をつけよ。

- ① 品質管理は、設計図書記載の規格以上のモノを使用すれば間違いない。
- ② 工程管理は、経済的な工期を確保するために工期延長もやむを得ない。
- ③ 原価管理は、利益確保のために必ず予算内に収まらなければならない。
- ④ 環境管理は、企業の社会的責任として捉える。

問題 10

コンクリート切断業者の資材管理について、次の記述のうち、最も関連性の低い番号に○印をつけよ。

- ① 人材管理（ヒトの管理）
- ② 作業管理（ノウリツの管理）
- ③ 資材管理（モノの管理）
- ④ 財務管理（カネの管理）

問題 11

工程管理の意義について、次の記述のうち、最も適切でない番号に○印をつけよ。

- ① 工期内に完了するため、最も能率的な施工方法を考える。
- ② どれだけコストが掛かってもいいので、時間的管理を第一優先にする。
- ③ 工事の実行予算に見合い、最も経済的なものを考える。
- ④ 品質・精度などが完全であること。

問題 12

工程管理の手順の順番として、適切な番号に○印をつけよ。ただし、イ～ニは手順の内容を示す。

- イ 検討の段階
- ロ 実施の段階
- ハ 処理の段階
- ニ 計画の段階

- ① イ→ニ→ハ→ロ
- ② イ→ハ→ニ→ロ
- ③ ニ→ロ→イ→ハ
- ④ ニ→イ→ロ→ハ

問題 13

作業改善の目標について、次の記述のうち、最も適切でない番号に○印をつけよ。

- ① 疲労の軽減・・・疲労はできるだけ少なく、かつ安全に作業ができるようにする。
- ② 品質の向上・・・作業はその出来栄が良くなるような方法に改善する。
- ③ 経費の削減・・・現場では経費削減を考慮しないようにする。
- ④ 時間の短縮・・・作業は出来るだけ時間のかからないような方法で行う。

問題 14

資材管理について、次の記述のうち、最も適切でない番号に○印をつけよ。

- ① 受注能力は人および資材によって決定される。
- ② 元請工期を考慮し、動員数や最適工法・機材の選定、最適刃物の選定を行う。
- ③ 刃物在庫がある場合は、突貫工事であっても現場に合わせた刃先の選択は必要ない。
- ④ 切断機械の整備状況、保有台数は受注活動に関連がある。

問題 15

「作業標準書による施工品質の確保・向上」について、次の記述のうち最も適切でない番号に○印をつけよ。

- ① 施工品質を確保し、向上させるため標準化した作業内容を文書化したのが、作業標準書である。
- ② 現場でよく使われる「段取り八分」とは、仕事の段取りをキッチリしておけば、その仕事は8割完了したのも同然であるという意味である。
- ③ 作業標準書を熟知し、機会あるごとに施工チーム内にその内容が効果的に伝達されるようにしなければならない。
- ④ 未熟練者や新規入場者に対しては、作業標準書に基づかない場当たりの指導や指示が求められる。

問題 16

「見積原価の管理」の【見積時の6つの確認事項】に関する次の記述のうち、確認事項にないものの番号に○印をつけよ。

- ① 現場条件の確認
- ② 設計図書、施工図等の確認
- ③ 工程の確認
- ④ 安全管理及び品質管理の確認

問題 17

「現場における原価管理は、実行予算という原価目標を達成することである」とされる。実行予算書作成に関する次の記述のうち、最も適切でない番号に○印をつけよ。

- ① 確定した契約金額から利益等を残して作成する。
- ② 材工の場合は（材料費と労務費）一式工事として作成する。
- ③ 実際に注文したり手配したりする数量で算定して作成する。
- ④ 自社（現場）が管理しやすいように作成する。

問題 18

原価管理では、元請対応が重要である。次の記述のうち、最も適切でない番号に○印をつけよ。

- ① 毎日の作業日報で契約内と契約外工事を明確にしておく。
- ② 契約外の追加・変更工事の追加・変更契約及び支払いの請求をする。
- ③ 契約外常用工事の請求書により常用精算する。
- ④ 作業日報は工事完了時期にまとめて元請に提出する。

#### 問題 19

設計品質と施工品質に関する次の記述のうち、最も適切でない番号に○印をつけよ。

- ① 品質には設計段階で定められる設計品質（ねらいの品質）と、施工段階で実現する施工品質（出来栄の品質）がある。
- ② 施工品質は、設計品質に関係なく、できるだけ低コストを実現できるよう施工者が決める品質である。
- ③ 設計図書に特定メーカーの製品を特記したり、施工方法を指示したりするなどして作り方を具体的に定めるものを「仕様規定」という。
- ④ 詳細な方法を規定しないで、求める品質を明示し、それが満たされればよいとするのが「性能規定」である。

#### 問題 20

品質管理における『QC 7つ道具』に関する次の記述のうち、最も適切でない番号に○印をつけよ。

- ① 特性要因図とは、品質管理上問題になっている特性とそれに関係する要因の因果関係を魚の骨のような形に整理する図である。
- ② 散布図とは、関連あると思われる2つの要因を縦軸と横軸にとって打点した図で、打点の分布の形状から2つの要因の関連が把握できる。
- ③ チェックシートとは、特性要因図等で整理された要因の発生状況を把握するためのシートである。
- ④ 管理図とは、チェックシート等で得られた要因の発生状況を棒グラフにしたもので、ばらつきの状況の評価に用いる。

#### 問題 21

「作業標準書による施工品質の確保・向上」における「段取り八分」とは、【PDCAサイクル】の何に該当するのか、最も適切な番号に○印をつけよ。

- ① P : Plan (計画を立てる)
- ② D : Do (計画に基づき実行する)
- ③ C : Check (結果と計画を比べて検討する)
- ④ A : Action (適切な処置を施す)

問題 22

労働安全衛生法について述べた、次の記述のうち、最も適切でない番号に○印をつけよ。

- ① 主に労働者に対し、労働災害を起こさないよう安全配慮義務を定めた法律である。
- ② 労働者の安全と健康を確保するとともに、快適な職場環境の形成を促進することを目的としている。
- ③ 雇入れ時及び定期の健康診断、または有害な業務に従事する労働者に対する特殊健康診断の実施を定めている。
- ④ 特に危険な作業等には作業主任者を選任しなければならない。

問題 23

安全管理を効果的に進めるために次の記述のうち、最も適切でない番号に○印をつけよ。

- ① 経営のトップが本気になって、主導性を発揮すること。
- ② 風通しの良い職場環境を構築する。
- ③ 現場のリーダーが安全への参加意識を持つこと。
- ④ 安全管理計画を立てる際は、下請け業者を含む現場の職員の意見を尊重する。

問題 24

建設業は製造業よりも安全対策が難しいと言われるが、その理由として、次の記述のうち、最も適切でない番号に○印をつけよ。

- ① 作業内容が変わるため、作業の慣れによる安全効果が期待しにくい。
- ② 多業種の専門工事業者が入場するため、各作業間の連絡、調整を図ることが困難である。
- ③ 雇用期間が長いので、継続的な教育、訓練は実施しやすい。
- ④ 単品受注生産のため、安全対策の規格化や標準化は困難である。

問題 25

工事検査に関連する事項に関する次の記述のうち、最も適切でない番号に○印をつけよ。

- ① 品質は工程で造り込み、検査では作れない。
- ② 出来形管理とは、工事の進捗管理のことをいう。
- ③ 切断施工の用途や目的、直線、曲線、折線（角度）を確認する。
- ④ 穿孔作業の用途、目的、穿孔の口径・深さ・数量を確認する。